

施工説明書

シャワートイレ US シリーズ

CW-US221Q-NE 型

CW-US221-NE 型 ・ CW-US220-NE 型

CW-US211-NE 型 ・ CW-US210-NE 型

この度は当社商品をお買い求めいただき、
誠にありがとうございました。

注意

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。

施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。
保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。
なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に貼り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。
※所有者登録の際、便フタ裏または製品本体に貼ってあるシールが必要となります。決してはがさないでください。
※定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。
シャワートイレ本体とリモコンは同梱以外のペアで取り付けないでください。
※シャワートイレ本体とリモコンはあらかじめ登録されていますので、同梱以外のペアで取り付けると作動しません。

安全のために守ってください……………	1
施工前のご注意……………	3
施工時のご注意……………	6
施工後のご注意……………	6
各部のなまえ……………	7
準備工具……………	7
部品の確認……………	8
取付完了図……………	9
施工手順……………	10
① エプロンの穴あけ……………	11
② 分岐金具の取付け……………	11
③ 既存便座の取外し……………	12
④ シャワートイレ本体の取付け……………	13
⑤ 壁面の穴あけ……………	14
⑥ 電源コードの引込み……………	15
⑦ 電源プレートの取付け……………	16
⑧ 接続銅管の取付け……………	17
⑨ 化粧リングの取付け……………	20
⑩ 通水の確認……………	20
⑪ リモコン便器洗浄コードの接続……………	20
⑫ 電源コードの接続……………	21
⑬ リモコンの位置決め・取付け……………	22
試運転……………	23
施工後の確認……………	26

商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで

ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間 平日 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

安全のために守ってください

シャワートイレを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。シャワートイレの施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

警告

この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う恐れが想定される内容を示します。

注意

この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負うまたは物的損害のみが発生する恐れが想定される内容を示します。

警告



指示実行

施工説明書に従い、正しく施工する。

※ 感電・火災・ケガの原因になります。
※ 漏水し、室内浸水の原因になります。



禁止

水道水以外に接続しない。

※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。



分解禁止

分解や改造は絶対に行わない。

※ 感電・火災・ケガの原因になります。



禁止

AC100V 以外では使用しない。

※ 火災の原因になります。



指示実行

電気配線工事は、必ず資格を持った電気工事士が正しく施工する。

※ 感電・火災の恐れがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で、漏電遮断器を「入」「切」しない。

※ 感電の原因になります。



指示実行

漏電遮断器を確実に取り付ける。

※ 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

※ 漏電遮断器の取付けは、電気工事店にご相談ください。



アース接続

確実にアースを接続する。

※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。

※ アースの接続は、電気工事店にご相談ください。



指示実行

電源線・アース線などの配線は、照明機器や暖房機器などの熱機器から離す。

※ 機器の熱で配線が溶断し、火災・漏電の原因になります。



水かけ禁止

本体や漏電遮断器に水や洗剤をかけない。

※ 感電・火災の恐れがあります。



禁止

電源コードにキズを付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。

※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。



禁止

電源コードをステップルなどで固定しない。

※ 被覆を傷め、感電・火災の原因となります。



この表示は「注意しなさい!」の記号です。(左記の『警告』、『注意』と併記して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)



この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。



この表示は、必ず実行していただく「指示実行」の記号です。

警告



指示実行

機器用配線および屋内配線の電線相互の接続は、確実にを行う。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。



指示実行

電源線・アース線・スイッチ配線および電気機器配線の結線部は、必ずジョイントボックス内に収める。
※ ホコリなどにより火災の原因になります。

注意



指示実行

製品を接続する前に、必ず配管中の異物・サビなどを完全に洗い流す。
※ 製品内部を傷めて漏水し、室内浸水の原因になります。



指示実行

- ストレーナーを外すときは、必ず分岐金具(止水栓)を閉める。
- ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締める。
- ゴミがOリングに付着した状態で取り付けない。
※ 漏水し、室内浸水の原因になります。



指示実行

分岐金具(止水栓)の調節と施工後の漏水点検を必ず行う。
※ 漏水し、室内浸水の原因になります。



指示実行

お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておく。
※ 凍結破損で漏水し、室内浸水の原因になります。



禁止

施工が完了するまで、電源を入れない。
※ 焼損し、室内漏水の原因になります。



指示実行

新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜く。
※ 配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、けがをしたり水漏れによって建物、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

施工前のご注意

■電源・電気配線について

- 取り付けるユニットバスに換気扇が付いていることを確認してください。
※換気扇が付いていないユニットバスに、このシャワートイレを取り付けることはできません。
- 定格電源は AC100V 50/60Hz、定格消費電力 165W に適した電気配線をしてください。
- 電源コードの長さは 5.3m です。電源コードがジョイントボックスに届き、水のかからない床面より高い位置に電源プレートを設置してください。
- 必ずアース接続は、D 種接地工事に準じた工事を行ってください。
- 必ず漏電遮断器を設置してください。
シャワートイレの電源には漏電遮断器が必要です。家屋に漏電遮断器がない場合、必ず最大定格を考慮した最適な漏電遮断器（高速・高感度型〔感度電流 15mA 以下、動作時間 0.1 秒以内〕）を設置してください。
- 棒端子付きの電線の場合は、棒端子部は絶対に切らないでください。
※電気工事が不適切な場合、漏電や火災の恐れがあります。
- 機器用配線および屋内配線の電線相互の接続は、電線接続用部品である銅線用裸圧着スリーブなどを屋内配線用電線接続工具（JIS C 9711）を用いて圧力を加え、導体と接続部を変形させて接続する方法や接続する各々の電線に適合した差込型コネクタを用いて接続する方法などで確実に結線してください。
差込型コネクタなどに接続する際は、必ず端子先端を端子穴の奥まで差し込み、目視確認してください。また、確実に接続されているか、必ず一本ずつ引っ張って確認してください。
※電気工事が不適切な場合、漏電や火災の恐れがあります。

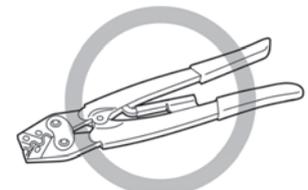
■不適切な接続例

単線と単線、単線とより線、より線とより線の直接接続（ねじり接続など）で、ろう付け（ハンダ付け）をしない接続は不適切な接続であり、絶対に行わないでください。
※発火する恐れがあります。
また、絶縁被覆付閉端接続子による接続も絶対に行わないでください。
※発火する恐れがあります。



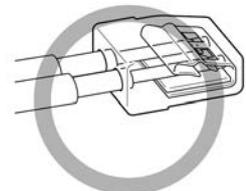
■正しい接続例

単線と単線、単線とより線、より線とより線の場合、接続する各々の電線に適合した裸圧着スリーブを用いて規定の圧着工具で確実に接続し、適切な絶縁処理を実施してください。



単線と単線、単線と棒端子、棒端子と棒端子の場合、接続する各々の電線に適合した差込型コネクタを用いて確実に差し込んで接続してください。

- 端子先端が底に当たるまで必ず確実に差し込んでください。
- 正確に接続しているか否か一本ごとにかかるく引っ張り、必ず確認してください。



■寒冷地について

このシャワートイレは寒冷地仕様ではありません。**凍結の恐れがある場合や場所（地域）**には、絶対に取り付けしないでください。

※接続銅管やシャワートイレ本体内の水を完全に抜くことができないため、凍結破損を起こします。

■給水条件について

●給水は必ず水道水に接続してください。

中水道や工業用水、井戸水などを使用すると電気部品や機械部品の耐久性が低下して、事故の原因となります。

●給水圧力は 0.06MPa{0.6kgf/cm²} ~ 0.75MPa{7.5kgf/cm²} が必要です。

0.06MPa 以下では満足なシャワーが得られません。このような場合は、お求めの取扱店にご相談ください。

■シャワートイレの便座サイズについて

シャワートイレは取り付けるユニットバスの種類や便器によって、便座サイズが異なりますので確認してください。

ユニットバス品番	使用便器品番		シャワートイレ品番	
		オプション	CW-US221-NE CW-US211-NE	CW-US220-NE CW-US210-NE
BLCP-1624TAZA	NC99SUUB-X1 (大型便器)	BC-P11S-UB (※) (大型便器)	○	-
BLCP-1620TAZA				
BLCP-1420TAZA				
BLCP-1620TADA	C-110STU-UB (標準便器)	NC99SUUB-X1 (大型便器) BC-P11S-UB(※) (大型便器)	○ 大型便器の場合	○ 標準便器の場合
BLCP-1620LADA				
BLCP-1420TADA				
BLCP-1420LADA				
BLCP-1418TADA				
BLCP-1418TBDA				
BLCP-1418LADA				
BLCP-1418LBDA				
BLCP-1418TAZD	C-13R (標準便器)	-	-	○
BLCP-1218TAZD				
BLCP-1418SBZD				
BLCP-1218SBZD				
BLCP-1216SBZD				
BLCP-1116SBZD2				
BLCH-1216SBWD2				
BLCH-1116SBZD2				
BLCH-1115SBWD2				
BLCH-1216SBWE2				
BLCH-1116SBWE2				
BLCH-1115SBWE2				
BLCH-1014SBWE2				

※：便器がタンクレス便器（機能部品番：DV-P110A 型）の時のみ、リモコン便器洗浄機能が付いた CW-US221Q-NE もお選びいただけます。

■リモコンの取付位置について

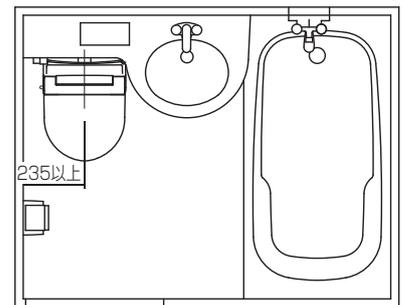
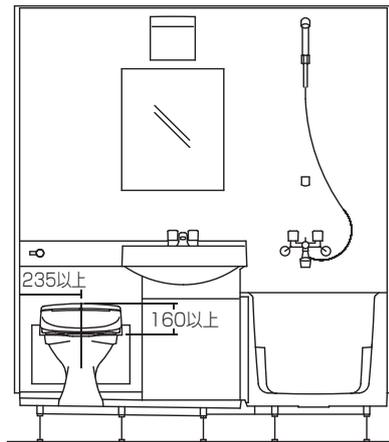
●リモコンは、操作しやすい壁面に取り付けてください。（22 ページ参照）

■取付スペースについて

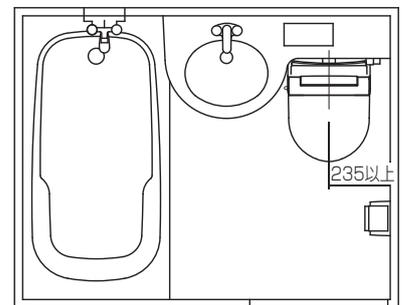
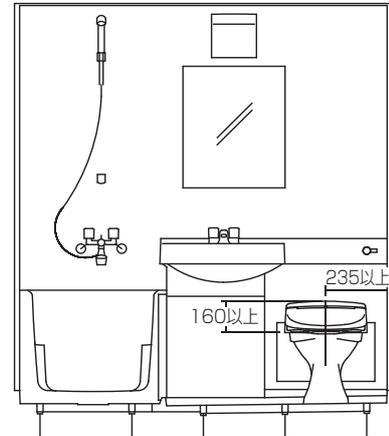
- シャワートイレを便器に取り付けるには下図の寸法が必要になります。十分なスペースと、障害物がないことを確認してください。特に狭いユニットや他社ユニットへの取付けの場合には、下記ツールを利用して事前確認を必ず実施してください。

- 取付確認用サンプル（品番：CW-US220TORI/BW1）
※ 1014、1115 サイズのユニットの場合は、必ずこちらを手配してください。
- 取付チェックシート（品番：セ-CW203-5）

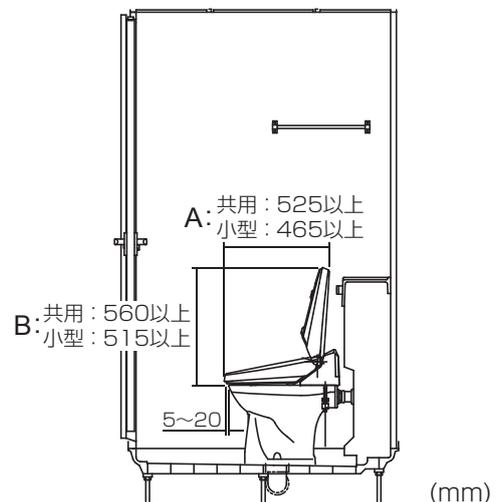
便器が左側にある場合



便器が右側にある場合



- 右図の A・B どちらかの寸法が満たされない場合は、取り付けの際に便フタがカウンターなどに当たって便座・便フタが自立しません。
このような場合、シャワートイレの便座先端と便器先端の差が目安として 5～20mm の間で調整してください。
それでも寸法が満たされないときは、便器の位置をずらすなどの処理をお願いします。



施工時のご注意

■電源は入れないでください。

電源は施工が完了するまで入れないでください。

■接続銅管を切断したら、切粉を取り除いてください。

接続銅管を切断したら、必ず水洗いなどで切粉を取り除いてから接続してください。

※故障の原因となることがあります。

施工後のご注意

■試運転を行ってください。

脱臭付の場合は、人が便座に座ったことを感知する着座センサーが付いています。おしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭は、着座していないと作動しません。着座センサーを白っぽい紙や布で覆って確認してください。

※ 着座センサー窓を覆っていた紙や布は、確認後、必ず取り去ってください。

■水抜きをしてください。

施工後、長期間使用しない場合は水抜きを行ってください。

※温水タンク内の水が汚れたり、冬期には凍結して故障する恐れがあります。

■使用方法ラベルを貼ってください。

使用方法ラベルはお客様の要望を確認してから、指定の位置に貼ってください。

■本体を保護してください。

ユニットバスの工事が完了するまで、キズが付かないように、梱包内のビニールシートを用いて本体を保護してください。

■説明書類をお渡しください。

商品に同梱されている施工説明書と取扱説明書などは工事終了後、必ず管理者さま（ホテルなど）またはお客様さまにお渡しください。

施工業者さまへ

お客様に必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客様にお渡しください。

なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に貼り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。

お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。

※ 所有者登録の際、便フタ裏または製品本体に貼ってあるシールが必要となります。決してはがさないでください。

※ 定期的に点検が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

シャワートイレ本体とリモコンは同梱以外のペアで取り付けないでください。

※ シャワートイレ本体とリモコンはあらかじめ登録されていますので、同梱以外のペアで取り付けると作動しません。

各部のなまえ

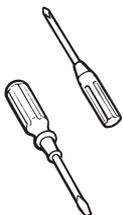
■施工が完了したときの一例です。※便器や止水栓、接続銅管などの形状が異なる場合があります。



☆ CW-US221Q-NE, CW-US221-NE, CW-US220-NE の場合のみ

準備工具

ドライバー (⊕, ⊖)



スパナ類



24mm

モンキーレンチ



24mm 対応

パイプカッター



ドリル (ホルソー)



φ 10

φ 5

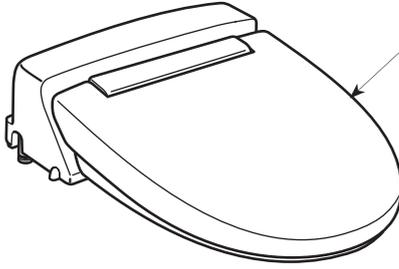
または φ 2.8



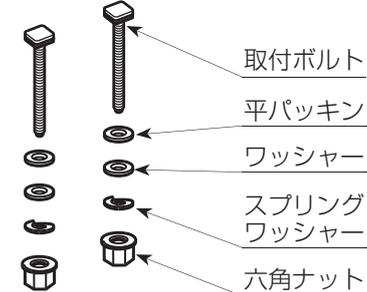
φ 30 ~ φ 50

部品の確認

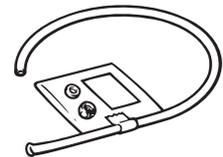
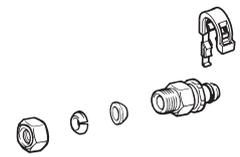
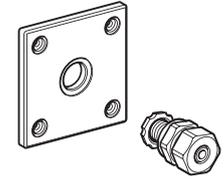
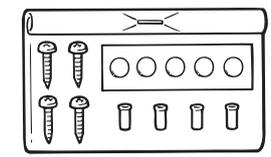
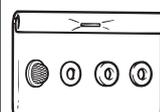
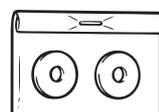
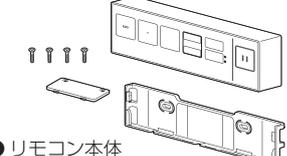
■梱包部品



本体

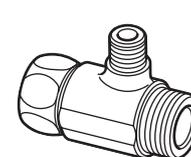
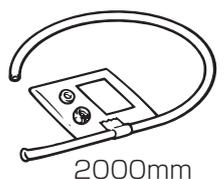


取付ボルト
平パッキン
ワッシャー
スプリングワッシャー
六角ナット

<p>接続銅管セット</p> <ul style="list-style-type: none"> ●接続銅管 (L = 1350mm) (1本) ●袋ナット (1個) ●ゴムパッキン (1個) 	<p>アダプター</p> 	<p>電源プレート</p> 	<p>電源プレート用ねじセット</p> <ul style="list-style-type: none"> ●固定用ねじ (4本) ●プラスチックアンカー (4個) ●シール (5枚) 
<p>パッキンセット (4個)</p> 	<p>化粧リング (2個)</p> 	<p>リモコンセット</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●リモコン本体 ●ホルダー ●電池フタ ●固定ねじ (4本: 電池フタ固定用2本・盗難防止用1本・予備1本) 	<p>説明書セット</p>  <p>取付工具</p>  <p>※ 使用後も保管しておいてください。</p>

※ 脱臭付の場合、脱臭カートリッジは、すでに商品に組み込まれています。

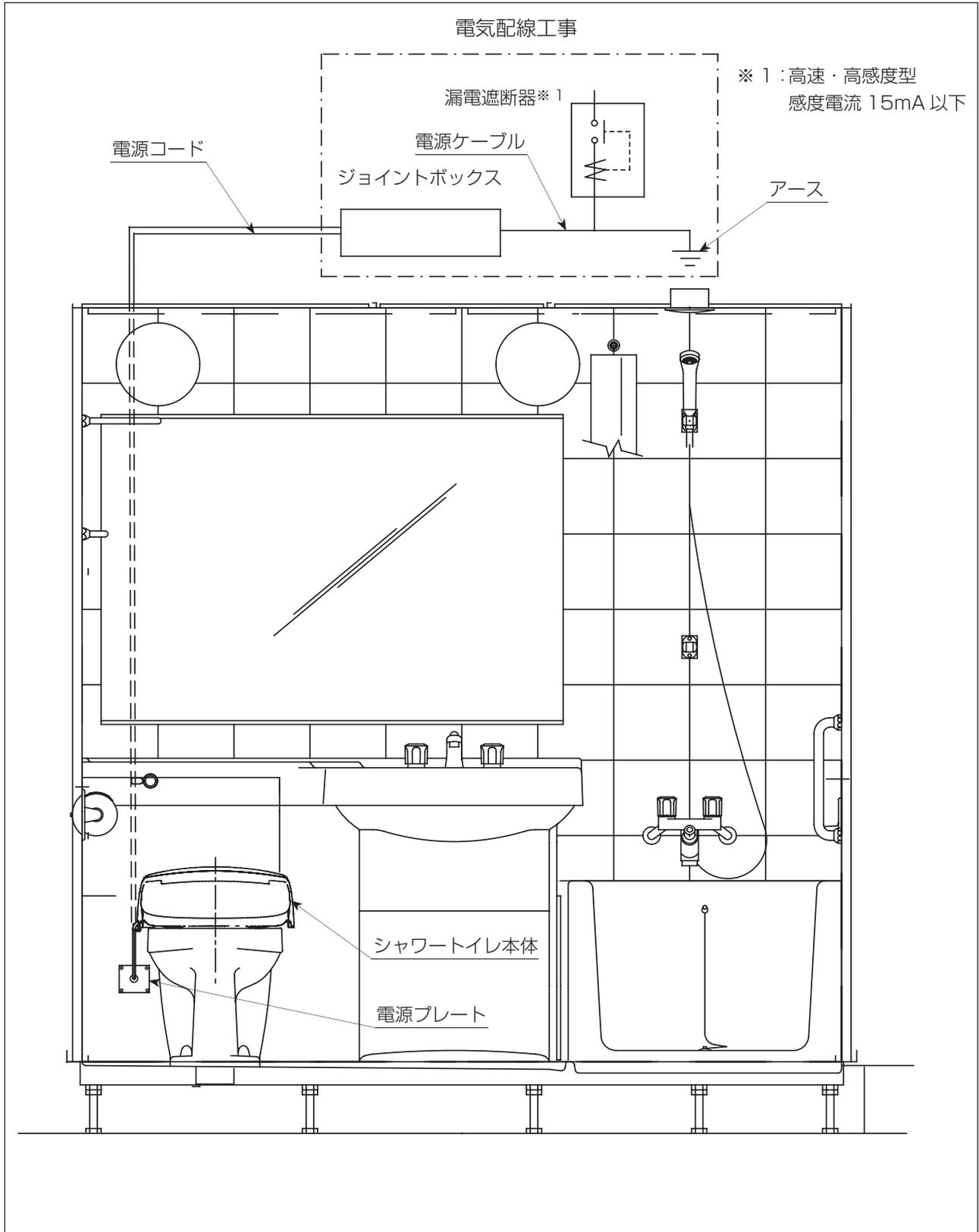
■別売部品

<p>止水栓付分岐金具 (CF-004)</p> 	<p>分岐金具 (CF-008)</p> 	<p>分岐金具 (CF-010)</p> <p>タンクレス便器をセットする場合に使用します。</p> 	<p>専用止水栓 (CF-93)</p> <p>シャワートイレ専用の配管がある場合に使用します。</p> 	<p>接続銅管 (300-115(2000))</p> <p>梱包された接続銅管の長さが足りない場合に使用します。</p>  <p>2000mm</p>
---	---	---	--	--

取付完了図

〈フルエプロンの場合〉

内は現場での手配となります。

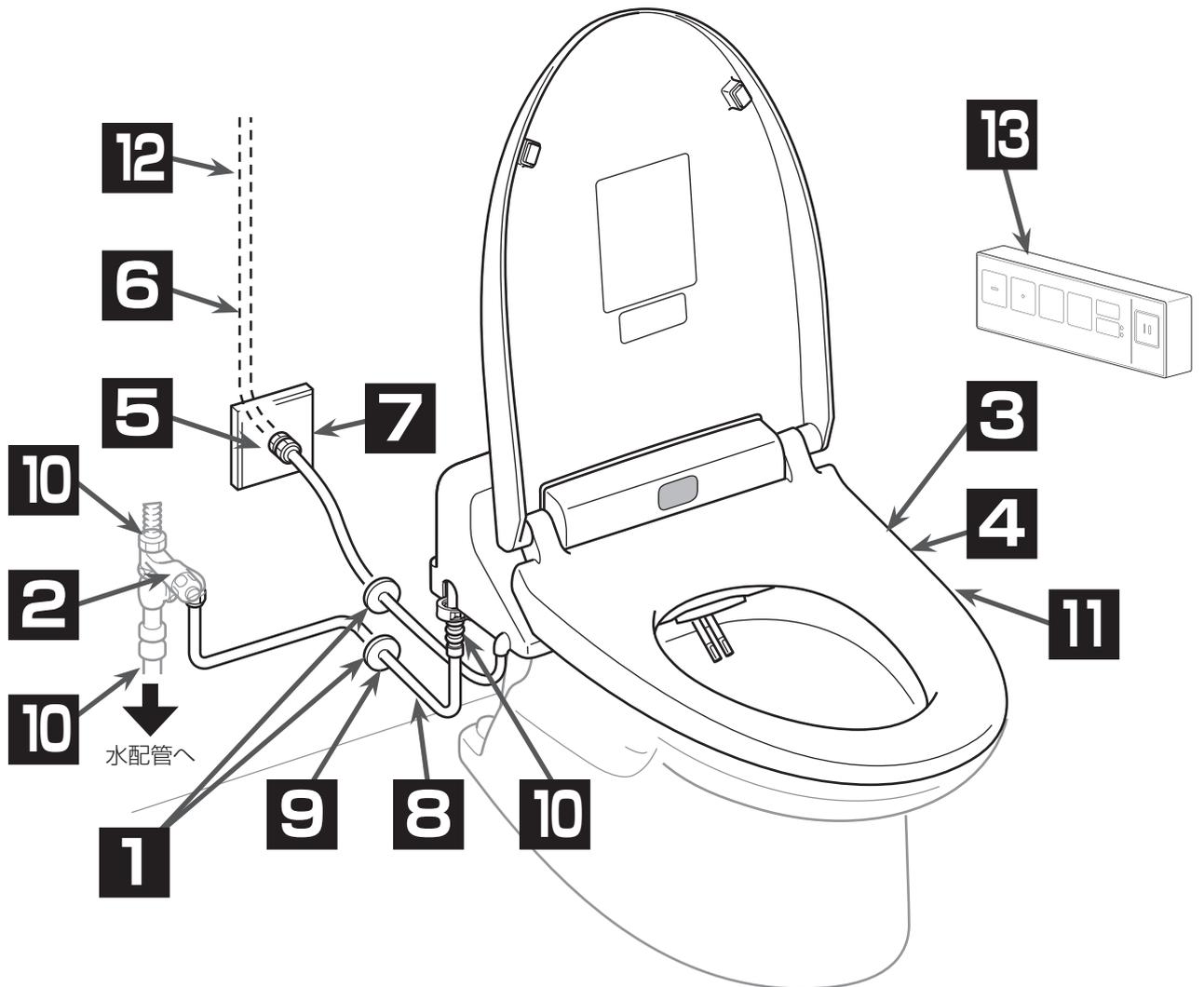


施工手順

■施工の流れ



※ 1：電源コードの接続は電気工事店に依頼してください。
また、施工が完了するまで電源は入れないでください。



1 エプロンの穴あけ

(カウンターエプロンがある場合)

- (1) エプロンの点検口を外します。
※ 点検口の開け方は、各ユニットバスの取扱説明書をご覧ください。
- (2) エプロンにドリル(φ10)で、接続銅管と電源コード貫通用の穴をあけます。

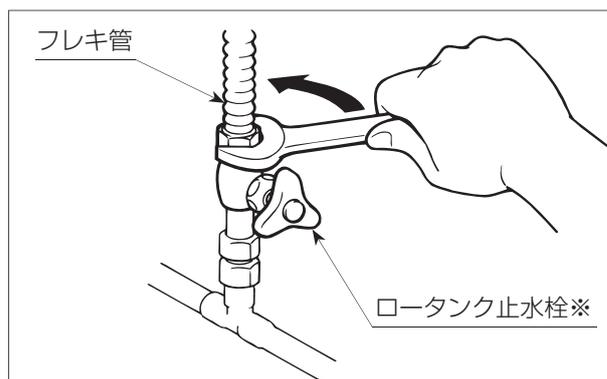
- 注意**
- 穴あけ位置は、壁裏配管や補強材の位置を確認して、現場にて調整してください。
 - あけた穴に切粉が残らないように、きれいに掃除してください。



2 分岐金具の取付け

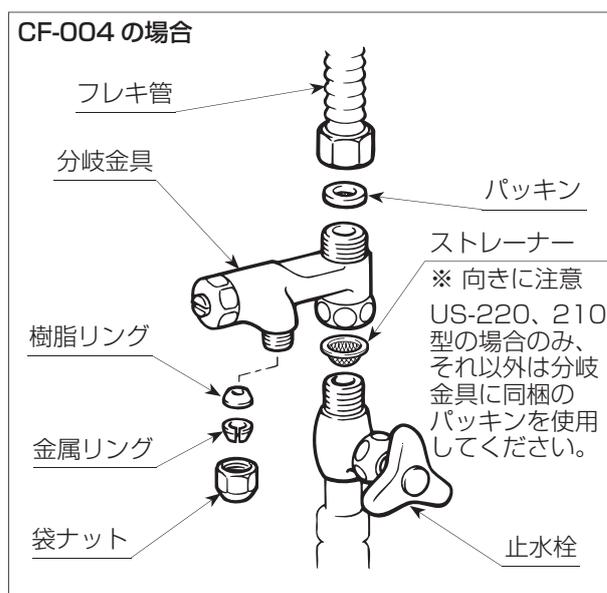
- 注意**
- 専用接続口があって、専用止水栓を取り付ける場合は分岐金具は不要です。専用止水栓に同梱の取付説明書をご覧ください。

- (1) ロータンク止水栓を閉めます。
※ 止水栓の形状は現場によって異なります。
- (2) 止水栓からフレキ管を取り外します。

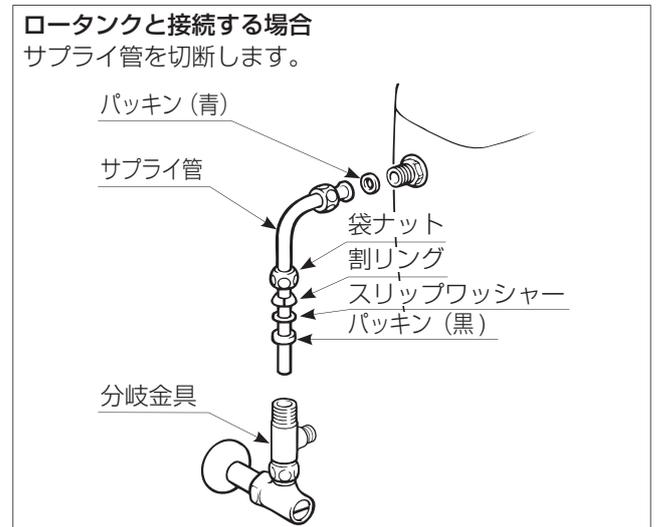
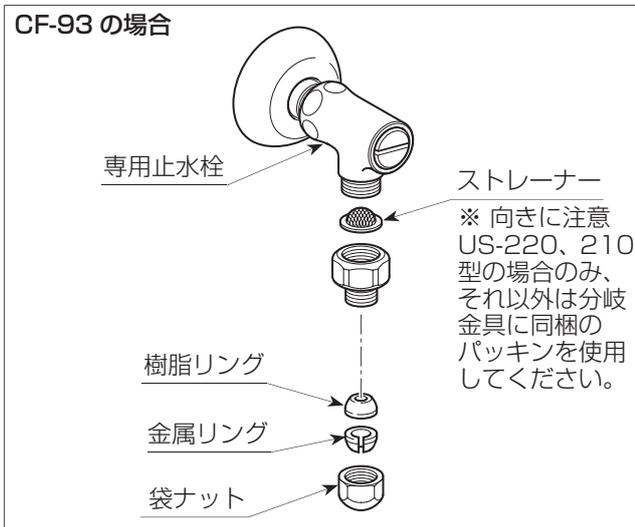
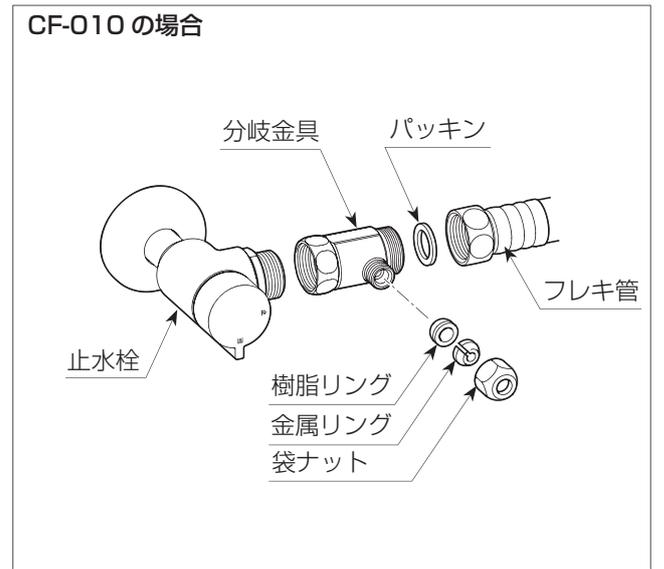
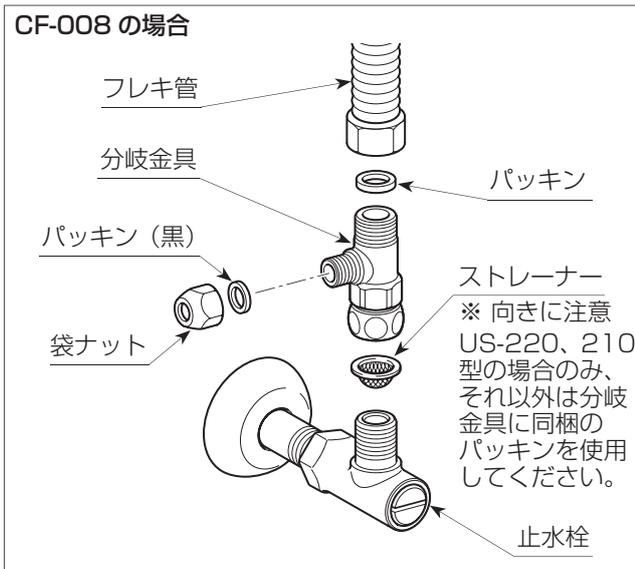


- (3) 止水栓に分岐金具を取り付けます。
CW-US220-NE、CW-US210-NE の場合は、ストレーナーも取り付けてください。
※ 接続銅管を取り付ける分岐金具の袋ナットを外しておく、取付けが容易になります。
- (4) 分岐金具にフレキ管を取り付けます。

- 注意**
- 必ず、付属の新しいパッキン、ストレーナーを使用してください。
 - 使用できる分岐金具類には、専用止水栓 (CF-93)、止水栓付分岐金具 (CF-004)、分岐金具 (CF-008、CF-010) があります。各分岐金具の接続例は次のページをご覧ください。



1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
エブロン の穴あけ	分岐金具 の取付け	既存便座 の取外し	シャワート イレ本体の 取付け	壁面の 穴あけ	電源コード の引き込み	電源プレー トの取付け	接続銅管 の取付け	化粧リング の取付け	通水の確認	リモコン便 器洗浄コー ドの接続	電源コード の接続	リモコンの 位置決め・ 取付け



3 既存便座の取外し

- (1) 便器裏側の便座取付ボルトのナット、スリップワッシャー、半球パッキンを外します。
 - (2) 既存便座を持ち上げて、便座取付ボルトごと取り外します。
- ※ 既存便座の取付構造はメーカーや機種により異なる場合があります。



4 シャワートイレ本体の取付け

(1) 使用する便器サイズに合わせて、ボルトの取付位置を決定します。シャワートイレの便座サイズについて (4 ページ) をご参照ください。

A 穴：標準便器用

B 穴：大型便器用

(2) 選択した穴 (A または B) と本体裏側の表記 (A または B) が一致するように本体取付ボルトを挿入します。

(3) 平パッキンを本体取付ボルトにはめ込みます。

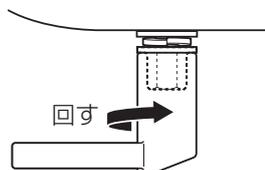
(4) 便器の便座取付穴に本体取付ボルトを差し込んで、本体を設置します。

※ 便器の位置が合わない場合は、便器から本体を取り外し、取付ボルトの位置を調節してください。

(5) シャワートイレ本体を固定します。

本体取付ボルトにワッシャーとスプリングワッシャーを通し、六角ナットを取り付け、本体がガタつかないように、施工器具で確実に固定します。

(締付トルク 2.0 ~ 2.5 N · m {20 ~ 25Kgf · cm})



注意

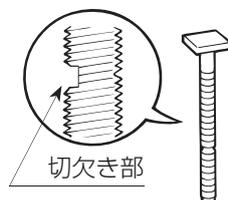
● ナットの締付けは片利きのないように左右繰り返して、少しずつ行ってください。

※ ずれの原因になります。

● ナットの締付後、本体が確実に固定されているか確認してください。本体がずれる場合は、締付不足のため、再度増締めしてください。

● 本体取付ボルトが長すぎる場合は切欠き部より切断してください。

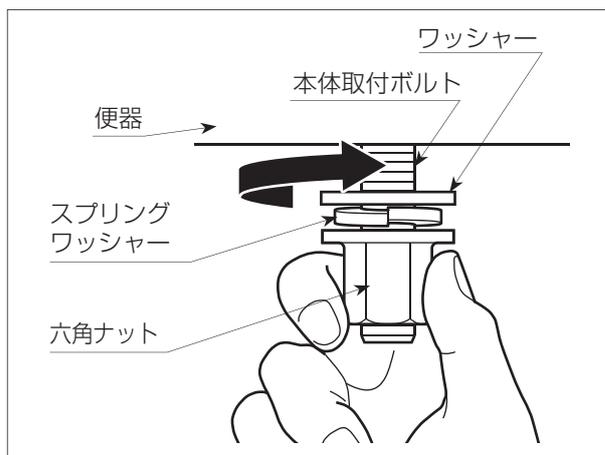
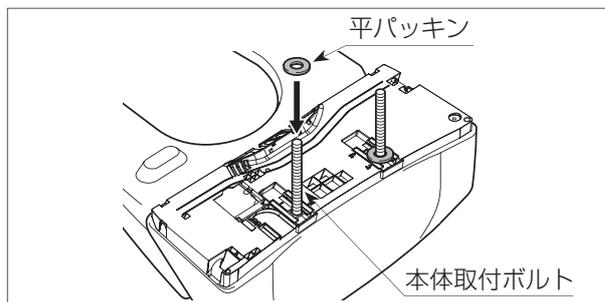
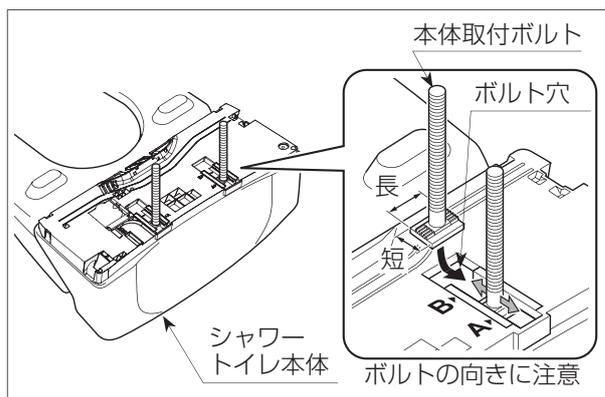
※ 切断後は、切断面のバリなどを取り除いてください。



注意



施工が完了するまで、電源を入れない。
※ 焼損し、室内漏水の原因になります。

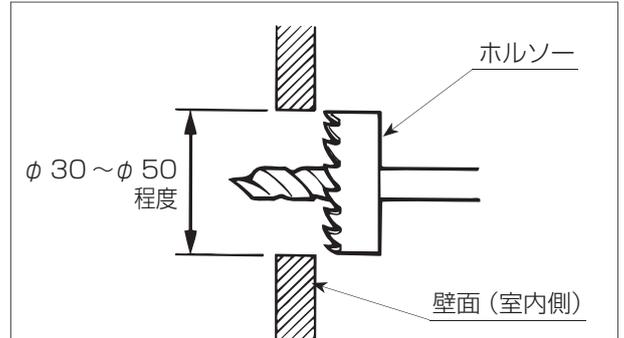


1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
エプロンの穴あけ	分岐金具の取付け	既存便座の取外し	シャワートイレ本体の取付け	壁面の穴あけ	電源コードの引き込み	電源プレートの取付け	接続銅管の取付け	化粧リングの取付け	通水の確認	リモコン便器洗浄コードの接続	電源コードの接続	リモコンの位置決め・取付け

5 壁面の穴あけ

(1) 壁面にホルソー(φ30~φ50程度)で、電源コード貫通の穴をあけます。

注意 穴あけ位置は、壁裏配管や補強材の位置を確認して、現場にて調整してください。

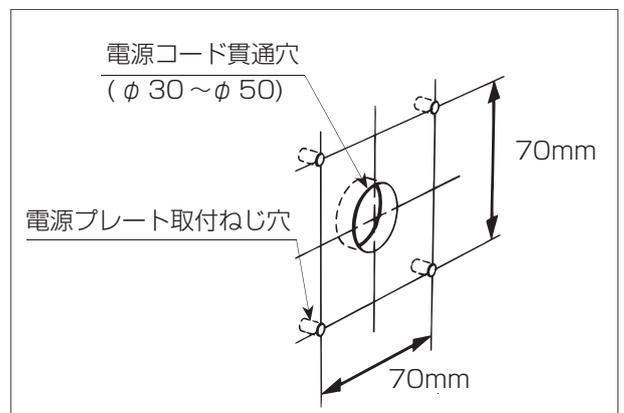


(2) 電源プレートを壁面に当て、取付ねじ穴位置をけがきます。

(3) 取付ねじ穴位置にドリルで下穴をあけます。

プラスチックアンカーが必要な場合

- ・タイル壁 : 下穴φ5
 - ・鋼板パネル : 下穴φ6
 - ※ ユニットバスに同梱されている専用品を使用してください。
- プラスチックアンカーが不要な場合** : 下穴φ2.8

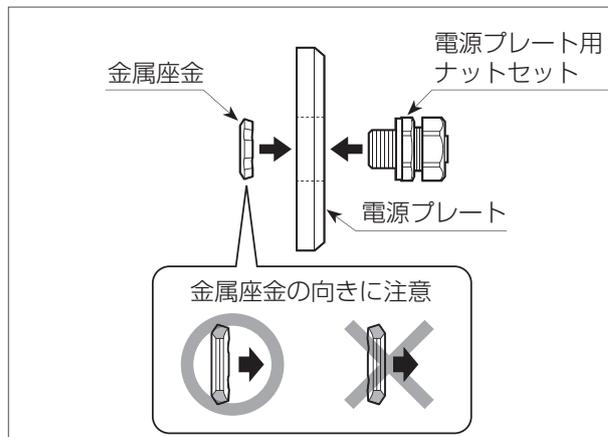


6 電源コードの引込み

- (1) 電源プレート用ナットセットを電源プレートにしっかりと固定します。

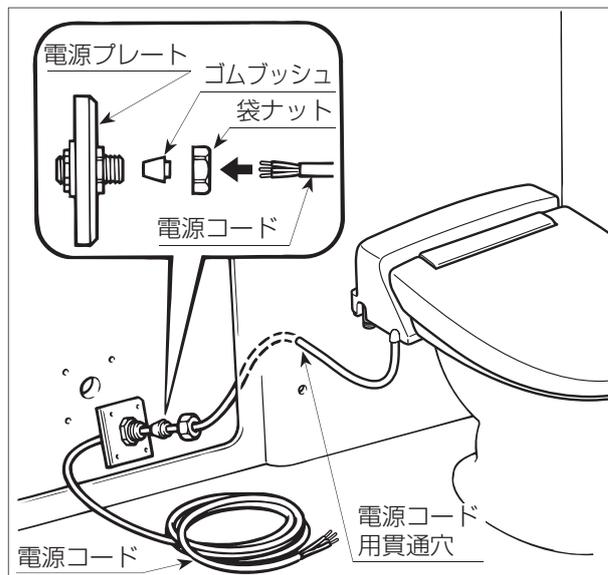
金属座金の向きに注意してください。

注意 ゆるみのないようしっかり固定してください。



- (2) 袋ナット、ゴムブッシュを外し、本体の電源コードをエプロンの貫通穴に通してから、袋ナット・ゴムブッシュ・電源プレートの順で通します。

注意 ゴムブッシュの取り付け向きを間違えないでください。



- (3) 天井点検口を開け、電源コードを天井裏のジョイントボックスまで引き上げます。

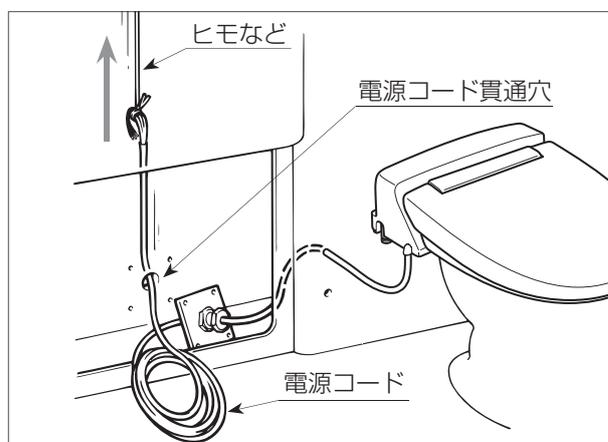
※ジョイントボックス、漏電遮断器は別途工事にてお願いします。

⚠ 警告



指示実行

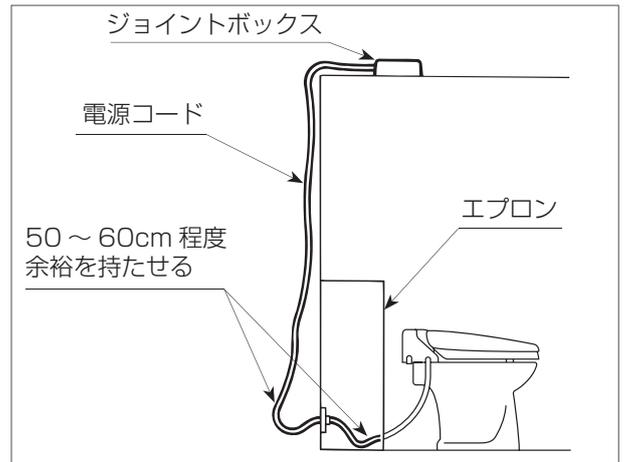
電気配線工事は、必ず資格を持った電気工事が正しく施工する。
※ 感電・火災の恐れがあります。



1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
エプロンの穴あけ	分岐金具の取付け	既存便座の取外し	シャワートイレ本体の取付け	壁面の穴あけ	電源コードの引込み	電源プレートの取付け	接続銅管の取付け	化粧リングの取付け	通水の確認	リモコン便器洗浄コードの接続	電源コードの接続	リモコンの位置決め・取付け

警告

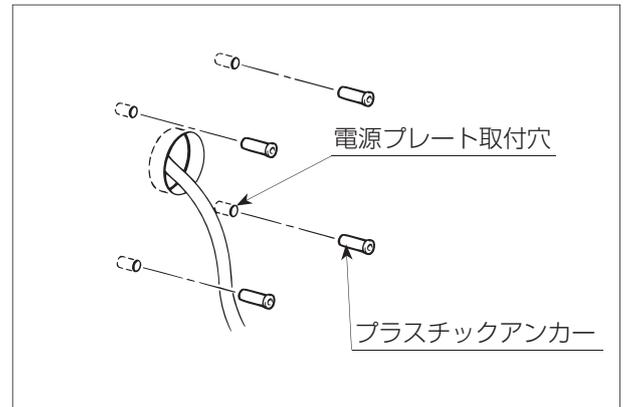
禁止 電源コードをステップルなどで固定しない。
 ※ 被覆を傷め、感電・火災の原因となります。



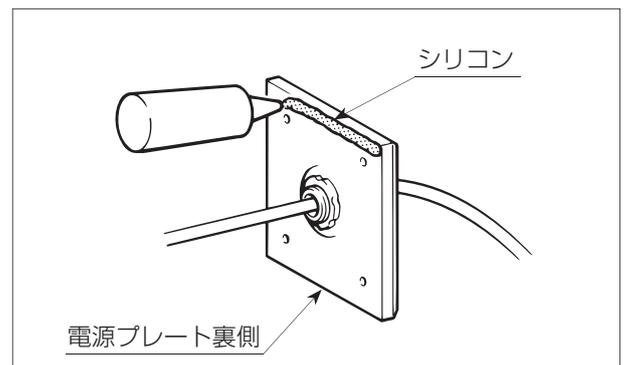
7 電源プレートの取付け

(1) タイル壁などの場合は、電源プレート取付穴にハンマーなどで、プラスチックアンカーを軽く打ち込みます。

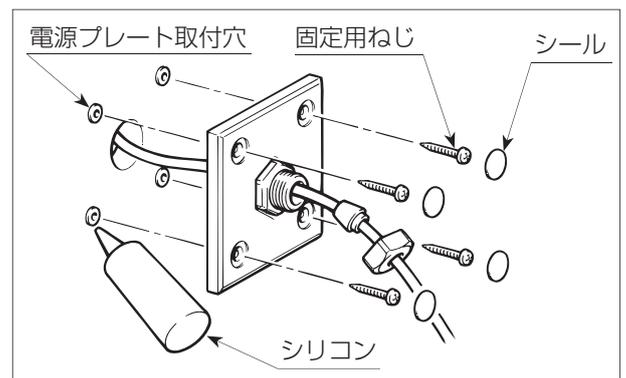
注意 プラスチックアンカーは、ユニットバスに同梱されている専用品を使用してください。



(2) 電源プレート裏側と電源プレート取付穴にシリコンを充てんして、固定用ねじ4本で電源プレートを固定します。



(3) ねじの取付部分にシール4枚を貼ります。
 ※電源プレートの汚れをきれいにふき取ってから、シールを貼ってください。

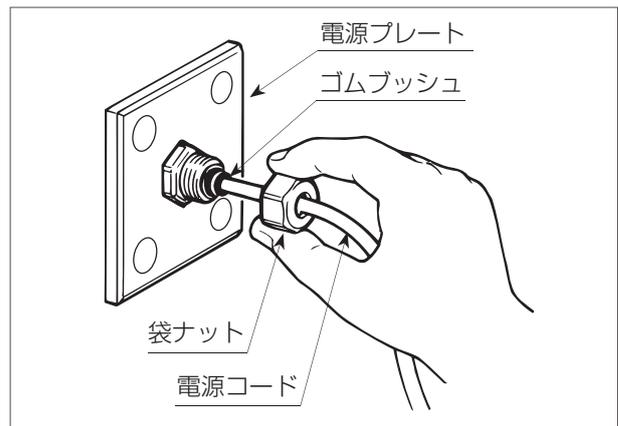


(4) ゴムブッシュを電源プレートにはめて、袋ナットをしっかりと締め付けます。

※袋ナットにキズが付かないように注意して、スパナなどで締め付けてください。

※締め付けた後、電源コードが抜けないことを確認してください。

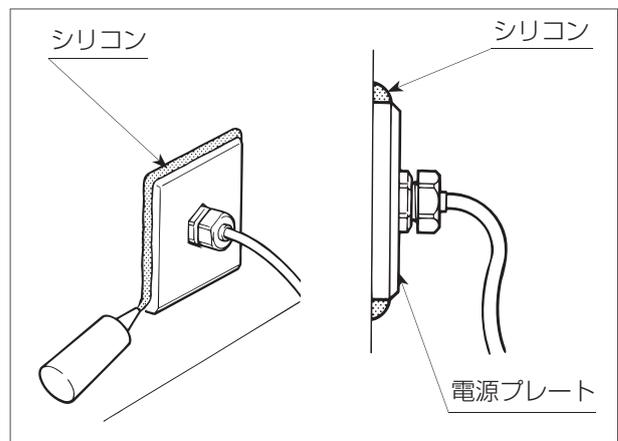
注意 電源コードが床につかない程度(50~60cm)に、シャワートイレ本体と電源プレート間のコード長さを調節してください。



(5) 電源プレート全周にシリコンを塗布します。

※壁や電源プレートが汚れないように、テープなどでマスキングしてください。

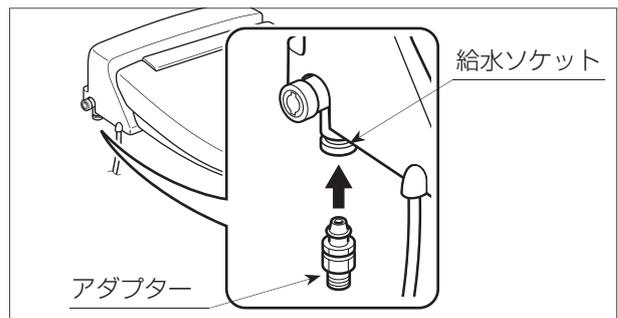
※はみ出したシリコンはきれいにふきとってください。



8 接続銅管の取付け

(1) 給水ソケットにアダプター (1000-6400) を差し込みます。

※CW-US220-NE 型と CW-US210-NE 型の場合は、給水ソケット周辺が狭く施工できないとき、シャワートイレの給水口を 90° 外に回転させてご使用いただけます。向きを決めてからアダプターを取り付けてください。

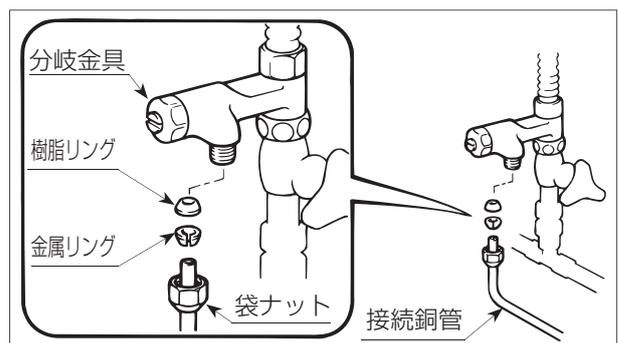


注意 Oリングにキズを付けないように注意してください。
※Oリングが切れたり、キズが付いたりすると漏水します。

(2)-A 【CF-004 (止水栓付分岐金具) の場合】

接続銅管に袋ナット、金属リング、樹脂リングを通し、ツバ部のない方を分岐金具に合わせ袋ナットで仮止めします。

注意 金属リングと樹脂リングの組付順と向きに注意してください。逆に組み付けると漏水します。

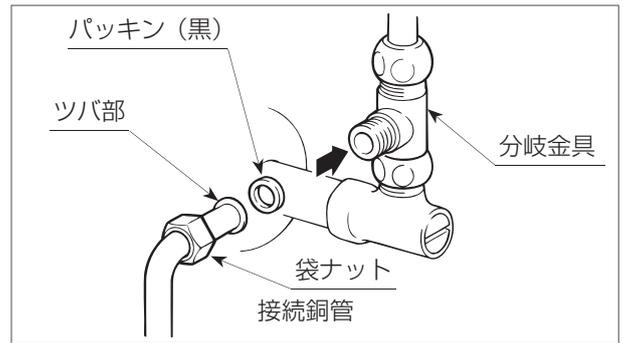


1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
エプロンの穴あけ	分岐金具の取付け	既存便座の取外し	シャワートイレ本体の取付け	壁面の穴あけ	電源コードの引き込み	電源プレートの取付け	接続銅管の取付け	化粧リングの取付け	通水の確認	リモコン便器洗浄コードの接続	電源コードの接続	リモコンの位置決め・取付け

(2)-B 【CF-008 (分岐金具) の場合】

接続銅管のツバ部を分岐金具に合わせ、パッキン(黒)を入れて袋ナットで仮止めします。

注意 接続銅管は必ずツバ側を分岐金具に合わせてください。

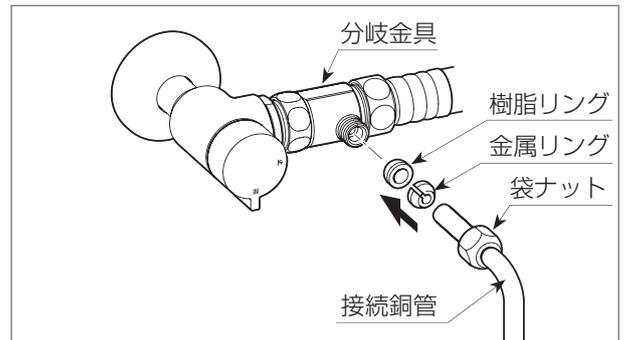


(2)-C 【CF-010 (分岐金具) の場合】

接続銅管に袋ナット、金属リング、樹脂リングを通し、ツバ部のない方を分岐金具に合わせ袋ナットで仮止めします。

注意 金属リングと樹脂リングの組付順と向きに注意してください。逆に組み付けると漏水します。

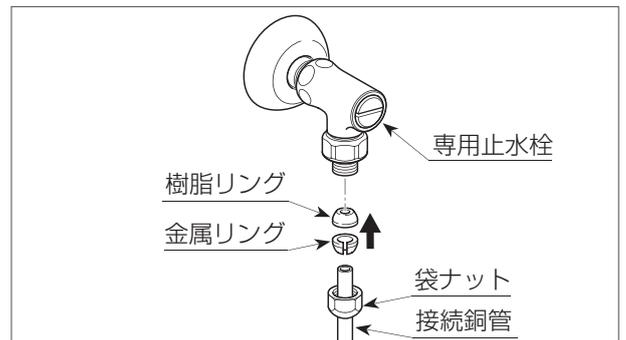
詳しい接続方法は、給水分岐金具に同梱されている施工説明書をご確認ください。



(2)-D 【CF-93 (専用止水栓) の場合】

接続銅管に袋ナット、金属リング、樹脂リングを通し、ツバ部のない方を分岐金具に合わせ袋ナットで仮止めします。

注意 金属リングと樹脂リングの組付順と向きに注意してください。逆に組み付けると漏水します。



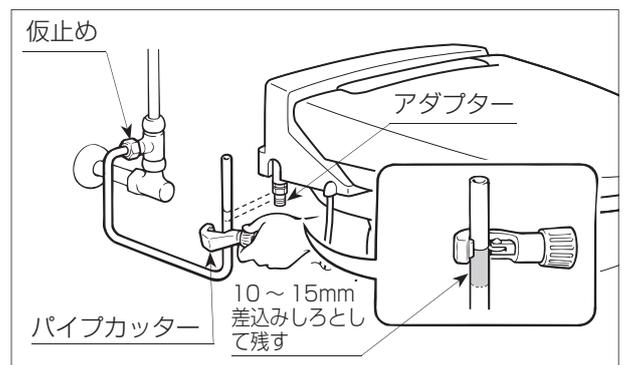
(3) 接続銅管をアダプターの位置に合わせ、差込みしるとして10～15mm程度残して切断します。

- 注意**
- 接続銅管は鋭角に曲げないでください。管がつぶれて、漏水や水が通りにくくなる原因となります。
 - 接続銅管の切断は、必ずパイプカッターを使用してください。切断後は切粉を水洗いなどで完全に除去してください。

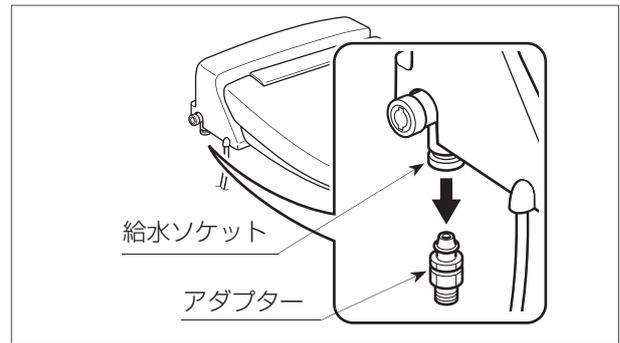
(4) 仮止めした分岐金具側の袋ナットをはじめに手でいっぱい締め付けてから工具で3/4～1回転増締めします。

(締付トルク 10～15N・m {100～150kgf・cm})

注意 接続銅管の接続は確実に行ってください。
※ 袋ナットの締め付けが不十分ですと漏水する恐れがあります。



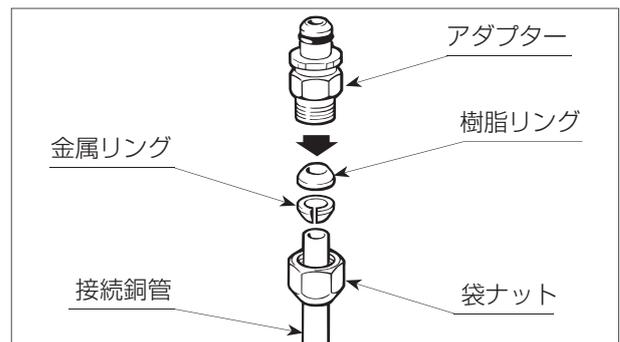
(5) 給水ソケットからアダプターを取り外します。



(6) 接続銅管に給水ソケットの袋ナット、金属リング、樹脂リングを通してアダプターを差し込み、袋ナットをはじめに手でいっぱい締め付けてから工具で 3/4 ~ 1 回転増締めします。

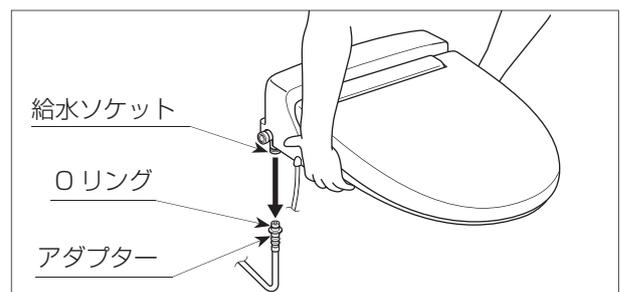
(締めトルク 10 ~ 15N・m {100 ~ 150kgf・cm})

注意 金属リングと樹脂リングの組付順と向きに注意してください。逆に組み付けると漏水します。



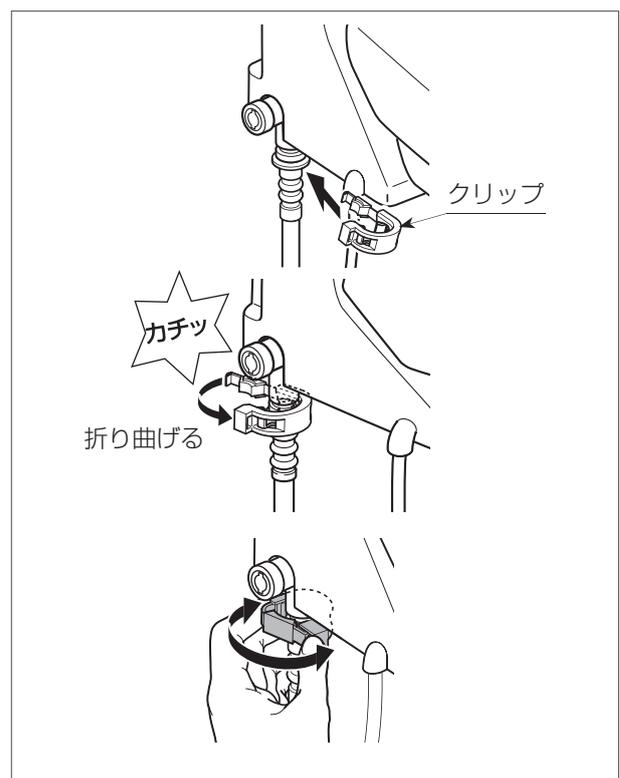
(7) 給水ソケットにアダプターを差し込みます。

注意 Oリングにキズを付けないように注意してください。
※Oリングが切れたり、キズが付いたりすると漏水します。



(8) クリップを給水ソケットとアダプターに差し込みます。

※クリップに方向性はありません。



(9) クリップを折り曲げ、給水ソケットとアダプターを確実に固定します。

※クリップの外しかたは 26 ページの「温水タンク内の水抜き」を参照してください。

取付後、クリップを回し、確実に取り付けられていることを確認してください。また、接続銅管を軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。

注意

- クリップは確実にはめ込んでください。
※きちんとはまっていないと漏水します。
- クリップの先端がカチッと音がするまではめ込んでください。
※きちんとはまっていないと漏水します。

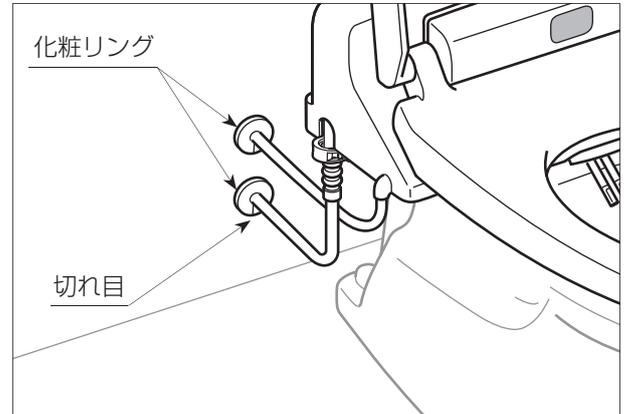
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
エプロンの穴あけ	分岐金具の取付け	既存便座の取外し	シャワートイレ本体の取付け	壁面の穴あけ	電源コードの引き込み	電源プレートの取付け	接続銅管の取付け	化粧リングの取付け	通水の確認	リモコン便器洗浄コードの接続	電源コードの接続	リモコンの位置決め・取付け

9 化粧リングの取付け

化粧リング裏側のシールをはがし、エプロンの貫通穴（電源コード用、接続銅管用）に貼り付けます。

※化粧リングは、エプロンの汚れをきれいにふき取ってから貼ってください。

※化粧リングの切れ目を見えにくい位置（下側）にして貼ってください。

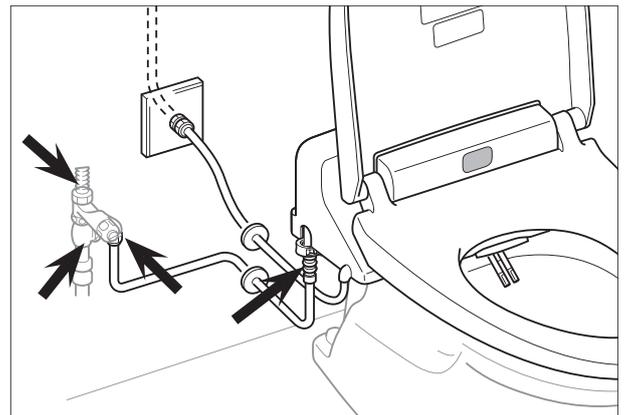


10 通水の確認

(1) ロータンク止水栓を反時計回りに回して開きます。

(2) 各接続部に漏水がないことを確認します。(矢印部)
 ※漏水する場合は、ナットを締め直すか、再組付けしてください。

(3) カウンターエプロンの点検口を取り付けます。



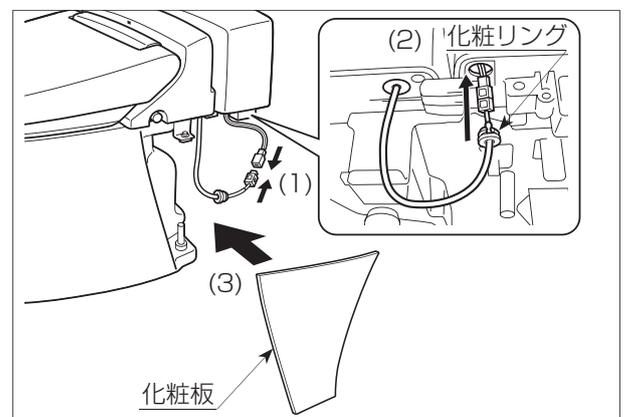
11 リモコン便器洗浄コードの接続

タンクレス便器 DV-P110A 型と CW-US221Q-NE の組み合わせの場合、リモコン便器洗浄機能用のコードを接続します。

(1) 本体向かって右側面にある接続コードを接続します。白と黒のコネクターを接続してください。

(2) 接続したコネクターをタンクレス便器内に入れ、接続コードに付いている化粧リングをはめ込みます。

(3) タンクレス便器の化粧板を取り付けます。
 詳しくはタンクレス便器の施工説明書を確認してください。



12 電源コードの接続

- (1) 電源コードのアース線（緑／黄色）、および電源線（白色、黒色）をジョイントボックスの近くまで配線します。
- (2) 天井点検口を閉めます。

注意 電源コードを接続する場合は、同じ色どうしを接続してください。
そのとき、コードの先端は必ず接続端子を使用して接続してください。



⚠ 警告



電気配線工事は、必ず資格を持った電気工事が正しく施工する。
※ 感電・火災の恐れがあります。

指示実行



漏電遮断器を確実に取り付ける。
※ 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
※ 漏電遮断器の取付けは、電気工事店にご相談ください。

指示実行



電源線・アース線・スイッチ配線および電気機器配線の結線部は、必ずジョイントボックス内に収める。
※ ホコリなどにより火災の原因になります。

指示実行



電源線・アース線などの配線は、照明機器や暖房機器などの熱機器から離す。
※ 機器の熱で配線が熔断し、火災・漏電の原因になります。

指示実行

⚠ 警告



AC100V 以外では使用しない。
※ 火災の原因になります。

指示実行



確実にアースを接続する。
※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
※ アースの接続は、電気工事店にご相談ください。

アース接続



機器用配線および屋内配線の電線相互の接続は、確実にを行う。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。

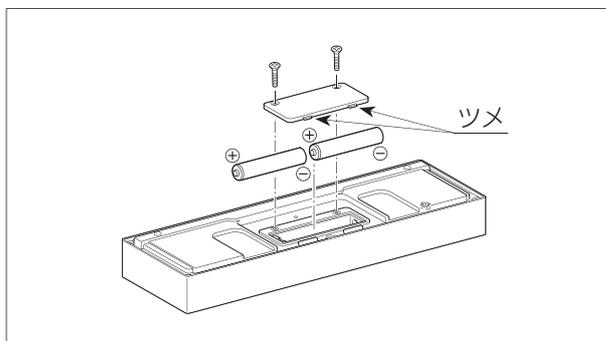
指示実行

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
エプロンの穴あけ	分岐金具の取付け	既存便座の取外し	シャワートイレ本体の取付け	壁面の穴あけ	電源コードの引き込み	電源プレートの取付け	接続銅管の取付け	化粧リングの取付け	通水の確認	リモコン便器洗浄コードの接続	電源コードの接続	リモコンの位置決め・取付け

13 リモコンの位置決め・取付け

- 付属の電池（リチウム単四形 2 本）を入れます。
- 電池フタのツメをリモコン本体に引っ掛けて、固定ねじ（2 本）で電池フタを固定します。

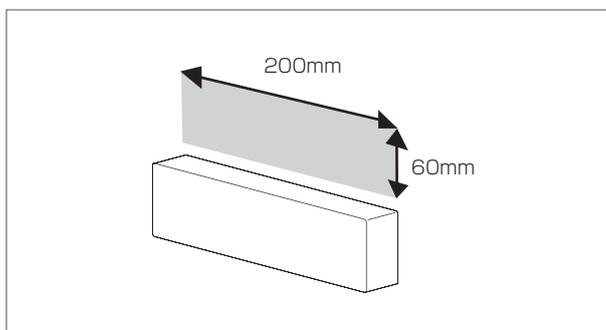
- 注意**
- 電池のプラスとマイナスの向きを間違えないように入れてください。
 - 電池は、新しいものと古いものを混ぜて使用しないでください。
 - 同梱の電池を使用してください。
 - 裏フタの固定がしっかり行われないとリモコン内部に侵水し破損する恐れがあります。



- リモコンの取付位置を確認します。

リモコンを取り付ける位置に仮置きし、無理なく操作できることを確認します。

- 注意**
- リモコン取付位置の上方に、リモコン脱着に必要なスペースがあることを確認してください。
 - リモコンはユニットバスのグレード・サイズごとに指定されている取付位置に設置してください。



- ホルダーを取り付けます。

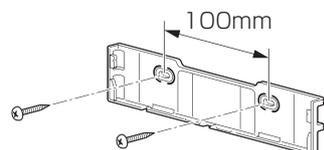
- 注意** 電動工具は使用しないでください。
※ 部品が破損する恐れがあります。



【厚みが 5mm 以上の合板壁の場合】

付属の木ねじで固定します。

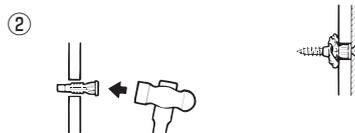
【厚みが 5mm 以上の合板壁の場合】



【厚みが 5mm 以下の合板壁および石膏ボードの場合】

- ① 壁に下穴をあけます。
(合板壁：φ 6mm、石膏ボード：φ 5mm)
- ② プラスチックアンカーを軽く打ち込みます。
- ③ ホルダーを木ねじで固定します。
締め付けていくと、初めは堅く、いったん緩くなり再び堅くなります。

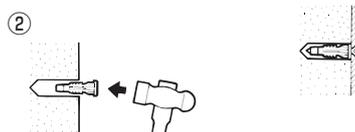
【厚みが 5mm 以下の合板壁および石膏ボードの場合】



【コンクリート壁の場合】

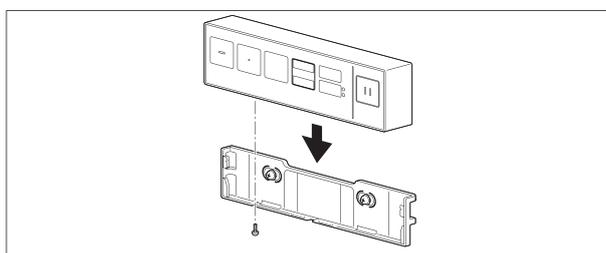
- ① 壁に下穴をあけます。(φ 6mm、深さ約 33mm)
- ② プラスチックアンカーを軽く打ち込みます。
- ③ ホルダーを木ねじで固定します。

【コンクリート壁の場合】



- リモコンを取り付けます。

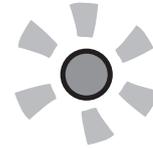
- ① リモコンをホルダーへセットします。
- ② 必要であれば、固定ねじでリモコンとホルダーを固定します。ホルダー下側からリモコンを固定してください。



試運転

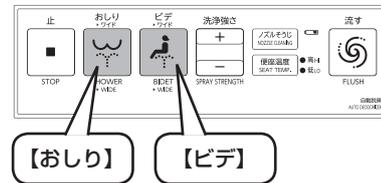
1 電源の確認

- (1) 漏電遮断器を「入」にします。
- (2) 本体の電源ランプが点灯していることを確認します。



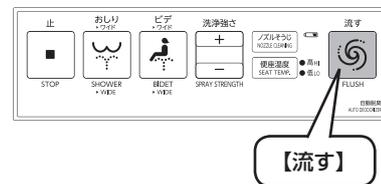
2 おしり洗浄、ビデ洗浄の確認

- (1) 脱臭付の場合は、人が便座に座ったことを検知する着座センサーが付いています。着座センサーを白っぽい紙や布などで覆ってください。
- (2) リモコンの【おしり】を押します。
このとき、シャワーが噴出しますので、周囲に飛び散らないように手の平で受けます。
シャワーを止めるときは、【止】を押してください。
温水タンクが満水でない場合は「強」で約2分待ちます。
シャワー使用中、ノズル付近から便鉢内に向けて水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。
- (3) リモコンの【ビデ】を押します。
ビデ用ノズルが伸びて、おしり洗浄よりも約25mm前にシャワーが噴出します。



3 リモコン便器洗浄の確認 (リモコン便器洗浄機能付の場合)

- (1) リモコンの【流す】を押します。
便器洗浄を行うことを確認します。
※「おしり洗浄、ビデ洗浄」は正しく動作するのに便器洗浄を行わない場合は、接続コードが外れている可能性があります。20ページの「**II** リモコン便器洗浄コードの接続」を確認してください。



4 温水・暖房便座の確認

- (1) おしり洗浄、ビデ洗浄の確認後、約15分待ち、温水が出るか確認してください。
- (2) 便座が暖まっていることを確認してください。
※ 温水を優先的に温めるため、便座が暖まるまでに時間がかかる場合があります。

リモコンが作動しないときは次のことを確認してください。

■ リモコンの電池が正しく取り付けられていますか。

電池を正しく取り付けてください。リモコンの施工説明書を参照してください。

■ シャワートイレ本体とリモコンは、同梱以外のペアで取り付けないでください。

※ シャワートイレ本体とリモコンはあらかじめ登録されていますので、同梱以外のペアで取り付くと作動しません。

※ 同梱以外のペアで取り付けてしまった場合は、以下の手順で登録し直してください。

<リモコンの登録>

すでにリモコンがご使用できる場合は、登録は必要ありません。

リモコンで操作できない場合や再度リモコンの登録が必要な場合は、以下の手順にしたがってリモコンの登録を行ってください。

本体の電源が ON になっていること、リモコンに電池が入っていることを確認してください。

(1) リモコンを本体に近づけます。

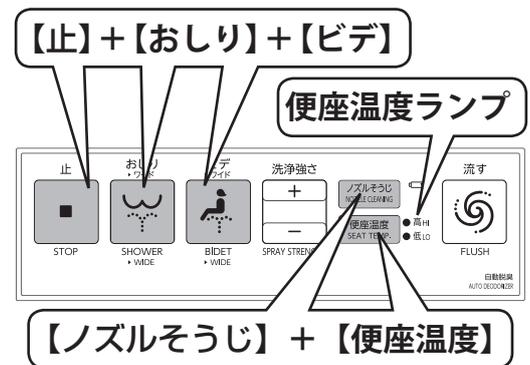
(2) リモコンの【止】と【おしり】と【ビデ】を同じタイミングで6秒以上押します。

※ リモコンの便座温度「高」と「低」のランプが交互に点滅します。

(3) リモコンの【ノズルそうじ】と【便座温度】を同じタイミングで2秒以上押します。

(4) 便座温度の「高」と「低」のランプが同時に点灯したら登録完了です。

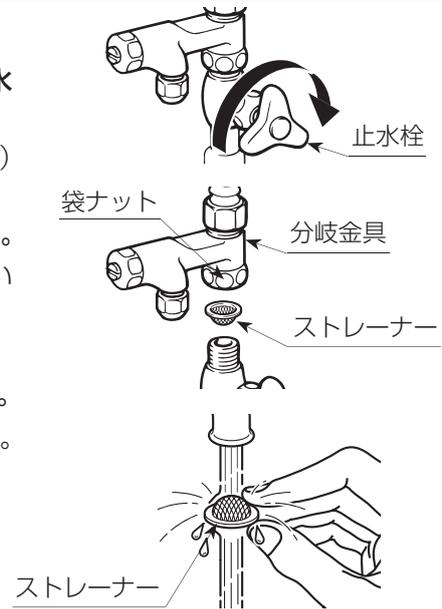
ランプが点滅したら正しく登録できていません。再度(2)からやり直してください。



水の出方が悪い場合は、ストレーナーを掃除してください。

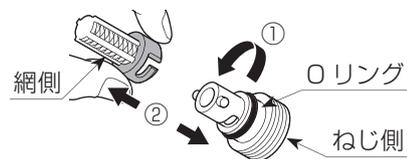
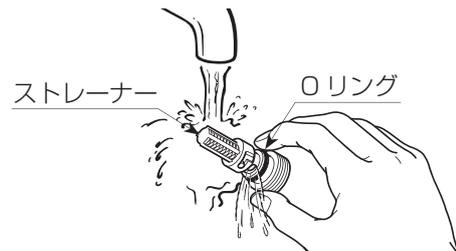
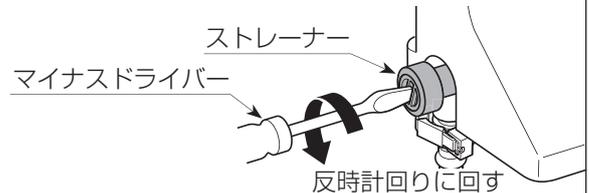
<配管内蔵タイプ>

- (1) ストレーナーが入っている配管の元にある止水栓を閉めて、給水を止めます。
※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。
- (2) 袋ナットを緩めて、ストレーナーを挟み込んでいる分岐金具を外します。
※ このとき少量の水がこぼれますので、洗面器などを下に置いてください。
- (3) ストレーナーを外します。
- (4) ストレーナーに付いているゴミを水洗いして完全に取り除きます。
※ 鋭利な物などで、網にキズが付かないように注意してください。
※ 網が破れるとゴミが侵入し故障の原因となります。
- (5) 逆の手順で、ストレーナーを取り付けます。
- (6) 元配管の止水栓を、元の位置まで開いて、給水します。
- (7) 分岐金具から水漏れしていないか確認してください。



<本体左側面タイプ>

- (1) 「止水栓」を閉めて、給水を止めます。
※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。
 - (2) 本体向かって左下の「ストレーナー」を工具で回して外します。
※ このとき少量の水がこぼれますので、洗面器などを下に置いてください。
 - (3) 「ストレーナー」や「Oリング」に付いているゴミを水洗いして完全に取り除きます。
ストレーナーの汚れがひどい場合はストレーナーをねじ側と網側に外し、水洗いしてください。
※ Oリングにキズを付けないように注意してください。Oリングが切れたり、キズが付いたりすると漏水します。
※ 鋭利な物などで、網にキズを付けないよう注意してください。
※ 網が破れるとゴミが侵入し故障の原因となります。
- 注意** ●ストレーナーを外して水洗いした場合は、しっかりとハマっていることを確認してください。



- (4) 「ストレーナー」を工具で確実に取り付けます。
- (5) 「止水栓」を元の位置まで開きます。
- (6) 止水栓部から水漏れしていないか確認します。

- 注意**
- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
 - ストレーナーを取り付ける際は、段差がないようにしっかりと閉める。
 - ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認する。
※Oリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。



施工後の確認

施工後、シャワートイレにキズが付いていないことを確認して、シャワートイレやユニット内を清掃してください。

また施工後、長期間使用しない場合は、下記の要領で必要箇所の水を抜いてください。

※ 温水タンク内の水が汚れたり、冬期には凍結して破損する恐れがあります。

1 分岐金具の止水

- (1) カウンター点検口を開けます。
- (2) 分岐金具（止水栓）の止水部をしっかりと閉めます。
- (3) カウンター点検口を閉めます。



2 水抜き

- (1) 洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を抜きます。
- (2) 漏電遮断器を「切」にします。
- (3) 温水タンクの水抜き栓を外して、温水タンクから水を抜きます。

あらかじめ水受け（約 1L 以上入るもの）を用意します。マイナスドライバーを使って、水抜き栓を反時計回りに 90° 回して外します。

※ 出し始めは水の勢いが強い場合がありますので、ご注意ください。

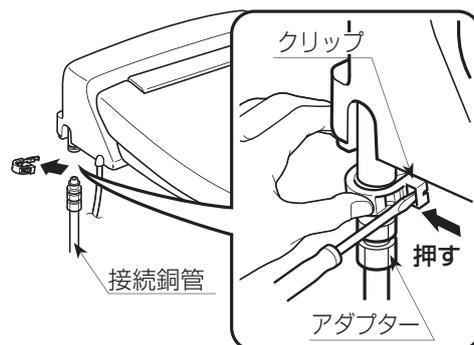
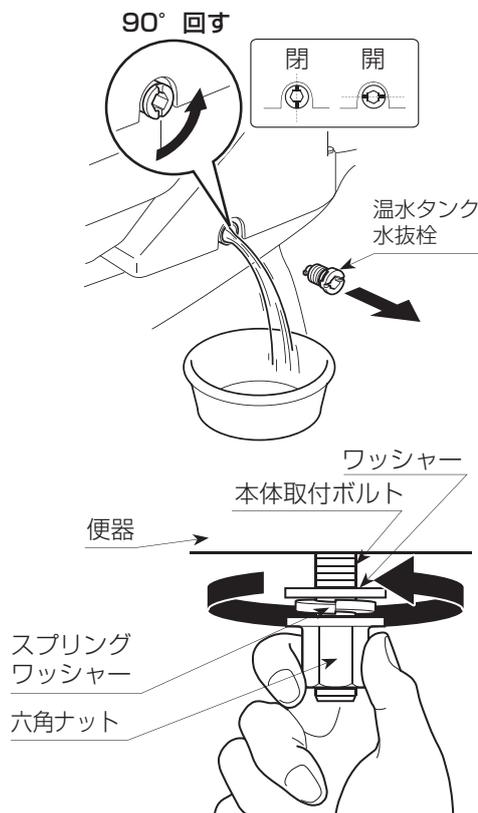
- (3) 水抜き完了後、水抜き栓を取り付けます。
マイナスドライバーを使って、水抜き栓を時計回りに 90° 回して確実に取り付けます。

- (4) 給水ソケットから水を抜きます。
① 本体向かって左側の給水ソケットの下に、洗面器などを置きます。

- ② 本体取付ボルトから「ワッシャー」、「スプリングワッシャー」、「六角ナット」を外します。

- ③ クリップを外して、接続銅管を外します。
クリップを外す際は、クリップを指で押さえ、マイナスドライバーを差し込んだ後、図のように押すようにして外してください。

- ④ シャワートイレ本体を便器から取り外します。
静かに持ち上げて、便器から外してください。

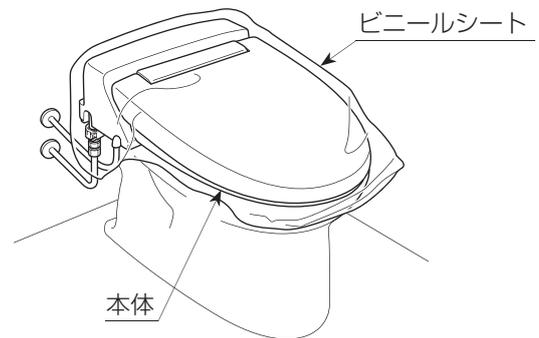


- ⑤ 本体を傾けて、給水ソケットの穴から本体に残った水を抜きます。
- ⑥ 逆の手順で、シャワートイレ本体を便器に組み付けます。



3 本体の保護

ユニットバスの工事が完了するまで、キズが付かないように、便座便フタ側から梱包内のビニールシートの中に入れて、本体をカバーしておきます。



●便フタや便座がロータンクフタや窓枠・壁・甲板などに当たりませんか？

1. 便フタ・便座を開き、ロータンクフタ・窓枠・壁・甲板などに当たるかを確認する。
2. 便フタ・便座が当たる場合は、当たり音・傷などの軽減のため、当たるところに別売品の当たり止め（品番：75-2608）を手配して貼り付ける。
※ 貼付け面をきれいにふき取ってから貼り付けてください。

快適機能の設定はしないでください！

■快適機能の設定はお客様におまかせください。

シャワートイレの快適機能は、お客様の好みで設定する必要があります。もし、施工業者さまで設定する場合は、お客様に設定した機能とその機能説明をお願いいたします。特に**節電機能**は、お客様が意識していないと、便座や温水が冷たく感じる場合があります。

快適機能とは

お客様にシャワートイレを快適にご使用いただくため、次のような機能が備わっています。

- 便座・温水の温度*
- 脱臭機能
- 節電機能
- 便座ヒーターオートOFF

*：試運転確認後、必ず「低」に戻してください。

※機種によっては、一部機能がない場合があります。

施工業者さまへ

お客様に必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客様にお渡しください。

なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に貼り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。

お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。

※所有者登録の際、便フタ裏または製品本体に貼ってあるシールが必要となります。決してはがさないでください。

※定期的に点検が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

シャワートイレ本体とリモコンは同梱以外のペアで取り付けないでください。

※シャワートイレ本体とリモコンはあらかじめ登録されていますので、同梱以外のペアで取り付けると作動しません。

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/>

商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで

ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間 平日 9:00～18:00

土・日・祝日 9:00～17:00

(ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

販売店